

4. 白沢区民館（白沢・白沢台・メイツ巽ヶ丘）

（１）概要

7月8日（水）

町側出席者 13名

地区側出席者 36名

（２）町政報告

同趣旨のため省略（１．宮津公民館を参照）

（３）要望・提言など

①：町道 105 号線の道路拡幅（白沢駅東）の今後の予定について【白沢】

答：歩行者の安全を図るため工事を実施する。事業期間は概ね3年ぐらいを予定している。

関連質問：現在、ふた付の側溝整備を進めており通学に便利になるが、その先の東ヶ丘につなぐ道路の見込みについてはどうなっているのか。

答：その先の道路整備は、都市計画道路名古屋半田線で東海市から東浦を経て東ヶ丘を抜けて高根台の西につながる予定となっており、現在、県に要望している。東浦町も要望しているので、道路計画によって先の道路は取付けも変わってくると思う。

関連質問：名古屋半田線の見込みも教えていただきたい。白沢だけが残っていくような感じになりそうだが。

答：知多東浦線までの区間に少し問題があったため長らく採択が遅れていたが東浦町側もよい方向に向かってきたという情報があるので、東浦町と阿久比町で県に早期に執行するように要望しているので、その進捗を見ていただきたいと思う。

②：阿久比町大字白沢字上・下釜ヶ池における土地利用の今後の計画について【白沢】

答：平成21年4月28日付けで民間事業者から宅地開発指導要項の規定に基づく事前協議があり、その概要については次のとおり。事業区域については、住所が白沢字下釜ヶ池から上釜ヶ池地内及び東浦町緒川字組田の一部、8,243平方メートルで市街化区域。事業の目的は戸建住宅用宅地開発で、区域内に6メートル道路を整備し、31区画の戸建用の宅地開発を行うとともに、区域の中には公園用地とごみステーションを整備するという計画となっている。これら公共施設については、阿久比町に帰属し移管される。予定工事期間は8月10日から来年1月31日までで工事中の土砂等の搬入は1日当たり延べ30台の10トンダンプが稼働し、総運搬台数は830台という計画となっている。

③：巽ヶ丘駅周辺の名古屋半田線道路整備計画の今後の予定について【白沢】

答：もともと拡幅計画はない。周辺からの要望も多いことから県から両脇の側溝関係、歩道関係を整備したいという話があり、この件に関しては、地元の地権者にも一度県から

説明をされていると思う。これも関係者が了解していただかないと事業ができないため、関係者が了解された時点で工事に入り、事業期間は概ね2～3年を見込んでいる。今年から来年からかは未定だが整備をするという県からの話がある。

関連質問：異ヶ丘駅の踏切は毎年要望が出ていると思うが、道路の拡幅ができないのであれば、踏切部分だけでもきちんと車道と歩道を分離できないか。

答：駅舎までが阿久比町内で踏切は知多市になるので整備は難しい。

関連質問：一時停止の場所を半田街道に出るほうの一時停止を川から下へ下げた方がよいと思う。一時停止の場所を知らない人のトラブルが多い。

答：一時停止の場所の管轄は公安委員会になる。現在、標識が立って一時停止なのか、白線だけなのか、確認の上、知多市にも要請しながら、公安委員会に要望していく。また、1ヶ月以内に進捗を自治会長に回答する。

④：現在、市街地率は17%と聞いているが、市街地率何%が理想としているか。【白沢台】

答：現在の市街化区域については416haで、約17.4%となっている。自然が豊かである住環境が阿久比町の自慢であり、宝であると思っている。今後策定する第5次総合計画では、自然と都市型の利便性を兼ね備えたバランスのとれたまちづくりを考え、安定した財源確保も当然必要だが、無秩序な開発に走らずに慎重に進めていきたいと思っている。

⑤：今後、人口の増減予想はどの程度と考えているか【白沢台】

答：人口の増減予測については、現在の第4次総合計画策定時の平成12年の国勢調査人口は24,028人、世帯が7,141世帯であった。現在の人口については、平成21年6月1日現在で25,094人、世帯は8,529世帯と、人口で約1,070人、世帯で約1,390世帯の増となっている。全国的に見れば、既に人口のピークは過ぎ、減少しているが、愛知県の人口将来予測では平成27年がピークでその後減少すると見込んでいる。阿久比町では、アパート等の建設も進み、人口増加傾向にある。また、民間宅地開発等も近年順調に進んでおり、阿久比駅に昨年から特急も停車することから、今後10年についても人口は増加していくと考えている。

⑥：今後の工業団地をどの程度拡大したいと考えているか【白沢台】

答：現在、工業団地は西部地区に土地基盤整備事業により、4カ所の工業団地を確保している。面積については、全部で約58haあるが、そのうち7企業が操業を行っている。現在の第4次総合計画においても、阿久比矢高地区、宮津地区の土地改良事業の中で2地区の整備要請をしている。概算でいけば約30haを工業用地として位置づけているので、今後も、土地改良事業の進捗にあわせて工業用地の確保をして企業誘致を進めていく。

⑦：高齢者の外出支援として、例えばジャンボタクシーのように予約制の乗り合い長寿タクシーについて導入を考えているか。【白沢台】

答：高齢者の外出支援として、満70歳以上の方に対してタクシーの初乗り料金の助成をし

ている。また、予約制の乗り合い長寿タクシーについては、急な予約の変更や確保すべき車の制限等問題が多いため、実施を考えていない。また、町内巡回バスについては、タクシー料金助成事業との調整が必要だが、第5次総合計画の中で検討し、ある程度の目安をつけていきたいと考えている。

⑧：電動車いすが使える歩道、長寿対応の手すり歩道の整備などはできないか。【白沢台】

答：電動車いすが使える歩道等の整備については、道幅が極めて狭いという状況の中で、車いす専用道路は困難と考える。

⑨：白沢駅付近を個人医院の集中医療センターとして、どんな病気でも対応できるように医院の増加と駐車場など整備計画はないのか。【白沢台】

答：集中医療センターについては、大字白沢区地区内に浅井外科をはじめ5つの診療所があり、新規の診療所の開設については、知多全体で診療所数を考える医療圏の問題と医師会での調整が必要となっており、集中医療センター的なものの設置は困難と考えている。すでに阿久比町全体では、医科が18、歯科が10開設しており、精神科関連の診療所がないだけで基本的には医療体制は充実していると考えている。

⑩：メイツ巽ヶ丘は、半田街道へのルートが悪いため道路整備をお願いしたい【メイツ巽ヶ丘】

答：駅周辺の道路では、駅の北側の道路と日生から出る道路と2本しかない状況にあり、駅の道路を拡幅するのが非常に困難であることから、都市計画道路名古屋半田線、中央道のボックスから知多東浦線、パチンコ屋の道路まで接続する方法の推進を図っていきたいと考える。これには東浦町と阿久比町の両方で都市計画道路の推進を県に要望していく。

関連要望：巽ヶ丘駅の踏切は、もうこれ以上よくなれないと考えるべきなのか。また、半田街道へのアクセスは改善できないのか。

答：拡幅の道が狭いことと、それから線路と県道までの距離が短いという、これも大きな問題があるため、名鉄を高架にするというくらいの規模のことで考えていかないとできない。名鉄の高架化と知多東部線の開通といった大きな事業を、今から知多市、東浦町、阿久比町で連携して対応していく。道路財源がどうなるのか不明な点もあるがそれだけの大きな工事であるということでご了承をいただきたい。

⑪：高齢者夫婦、ひとり暮らし高齢者が1日楽しめるような娯楽施設の提供をお願いしたい【メイツ巽ヶ丘】

答：お年寄りが楽しく1日を過ごしていただくために、現在、4小学校区に1カ所ずつ宅老所を開設しており、気軽にご利用いただければと思っている。また、施設の新設は考えていない。財政的にほかの施設を優先したいという部分もあり、高齢者のための施設ということでは考えていない。なお、各地区地元の集会所や公民館を利用して、カラオケとか婦人部の活動をしているところはかなりあるため、そうした活動をひろめていくことも今後の高齢化社会を考えた上で重要なことではないかと考えている。

関連質問：ある過疎のまちでは孤独死が多く、それを解消するのに、ボランティア活動などに取り組んでいると聞く。阿久比町での孤独死というデータは出ているのか。

答：特別にデータというものはないが、私が承知している孤独死といわれるような件数は3件で、1件は40代、あとの2件については高齢者でした。

関連質問：宅老所と保育園を併設してはどうか。

答：保育園の統合の検討をしており、新しくやる場合などそういうことも1つのアイデアとしてはよいと考える。

関連質問：宅老という名前がよくないと思うが。

答：印象のよい名前ではないので検討していく。

⑫：阿久比町の市町村合併への姿勢について【白沢台】

答：合併についてはそこに住む人が、よいと思える合併をしなければと思う。

⑬：阿久比町への脅迫事件について

答：脅迫電話直後に対策本部を立ち上げて対応を進めたが、その後電話の脅迫等は来っていない。現在、対策本部は解散したが、警察は情報収集等捜査を続けている。

⑭：白沢区民館で日中の12時から1時まで、午後の5時から7時半ごろまで管理者が不在になる件について

答：区民館、町立の公民館については指定管理者制度を導入して、地区に運営管理を任せている。

関連質問：町の施設なのに町は関係しないというのはおかしいと思うが。また、指定管理者制度について説明をお願いしたい。

答：指定管理者制度は、数年前に新しくできた制度であり、3～4年前に指定管理者制度を活用して、阿久比町と大字、あるいは自治会と指定管理者制度の契約を結んで管理運営を行っている。その指定期間の3年が期間満了し、改めて更新の手続を行っている。指定管理者を指定するには、議会の議決要件になっており、議会の議決を受け、地区に管理運営をお願いしている。

⑮：長野県下條村へ視察に行ってはどうか。

答：貴重な税金を無駄遣いするなという事は十分承知している。行革も進めている。権限委譲という名のもと国・県からどんどん仕事が降りてきて、制度も急変して職員も大変であるが頑張っている。今後も研究して無駄は無くしていく。